

2020 TOKYO OLIMPIC

1964, 東京
1896, アテネ

2020年 東京オリンピック
～ 頑張れ、日本水泳陣 ～

水泳の啓発 普及を目指して

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

～財団の財務の確立を目指して～



業務執行理事
磯部 正

このたび業務執行理事に就任しました磯部 正と申します。

私は財団法人愛知国際水泳殿堂・アジアの理事として15年前からお世話になっていますが、力不足のためこの重責が果たせるか大変不安です。

公益財団法人として内閣府の認定(2014年)を受けた当時を顧みますと、舎人代表理事を中心として菅原理事、岡村監事、伴野評議員が一丸となって苦勞された成果であったことが思い出されます。

旧財団法人愛知と公益財団法人・アジアを比較しますと組織が精選され、大幅な役員が減少はしたものの何とか公益事業「会報の発刊」「シンポジウム」「顕彰」などの目標に向って貢献できたものと自負しています。

ただ、公益法人の許可以降の財団の悩みとして、法人の円滑な運営のための経費が不足していることです。毎年、多くの方の寄附金、賛助会員の支援もありますが、最終的には役員関係者個人に負担をかけているのが現状です。

昨年の理事会では、この問題について内閣府の助言もあって、公益法人としての収益事業の実施が提案され理事会で承認、2020年度からスタートします。皆様のご協力をお願いします。

まもなく待望の東京オリンピックです。4月1日から日本選手権・東京オリンピック代表選手選考会をご注目下さい。

履 歴 愛知教育大学、中学校教諭、水泳指導者として活躍。中学校長歴任。加えて地域水泳活動の中心として水泳の普及・発展に尽力。旧財団法人愛知国際水泳殿堂・アジア理事の時、アメリカ訪問。小谷 実可子氏入堂式典に出席。

2020年度 公益事業計画

2020.4.1～2021.3.31

- 1 展示場A 継続 展示品 一部入れ替え 5月・コパン 緑
展示場B 継続 展示品 一部入れ替え 9月・札幌 サンエイ
H・Pの拡充 当財団収蔵品、基本財産、その他の財産を画面博物館とし紹介、展示場をH・P 整備
- 2 会報の発刊 No.19:6月 No.20:10月 No.21:2021年3月 発刊
- 3 無料水泳教室:無料水泳指導に名称変更 申し込みに対し対応
知多市夏季水泳教室、南知多町水泳教室後援7月:公益財団法人水泳指導員指導
- 4 水泳大会「第10回タイムトライアル」10月25日(祭)予定 コパンスポーツクラブ緑 公益財団法人 展示場A会場
- 5 第7回「シンポジウム」開催 2020年11月29日(日) 名古屋市中区・大須・ローズコートホテル
基調講演:仮題「人生をいかに生きるか」宮下充正先生・東京大学名誉教授
特別講演:「2020年 東京オリンピック、日本水泳陣かく闘えり」菊浦祐介様・共同通信社
- 6 「顕彰事業・表彰」 2020年11月29日(日) 名古屋市中区・大須・ローズコートホテル
顕彰・受賞者は9月10日選考委員会事務局案提出 選考委員会投票により9月末日決定
- 7 助成事業・A 水泳界発展のための助成 指定団体 5 2019年度 申請なし
助成事業・B 1 水泳界振興のための助成 2 水泳大会の助成:申請 コパンチャンピオン 京都9月予定
3 地域振興のための助成 4 指導力向上のための助成:指導者講習会7月・常滑予定

2020年度 収支予算書

2020.4.1～2021.3.31

収入の部		支出の部	
賛助会員	1,500,000円	公益事業	7,000,000円
寄附会員	8,500,000円	収益事業	0円
収益事業	1,000,000円	法人	4,000,000円
合計	11,000,000円	合計	11,000,000円

2020年度 主要会議

2020年度	第1回定例評議員会	2020年 6月21日(日) 11:00	名古屋市中区・大須・ローズコートホテル
	第1回定例理事会	2020年 5月23日(土) 10:00	みのかめ
	第2回定例理事会	2020年 8月29日(土) 10:00	みのかめ
	第3回定例理事会	2020年11月 7日(土) 10:00	みのかめ
	第4回定例理事会	2021年 2月13日(土) 10:00	みのかめ

* 定例理事、評議員会以外に毎月1回 役員打ち合わせ会開催 * 理事は出席義務者 評議員 監事は出席権利者

～2020年度主要競技会日程～

公益財団法人 日本水泳連盟

第95回	日本選手権・東京オリンピック代表選手選考会	4月1日～8日	東京・辰巳
第88回	日本高等学校選手権	8月17日～20日	茨城・山新スイミングアリーナ
第60回	全国中学校体育大会	8月17日～19日	愛知・日本ガイシアリーナ
第75回	国民体育大会	9月14日～16日	鹿児島・鴨池公園水泳プール
第96回	日本学生選手権	10月2日～4日	東京・辰巳

2019年度 第6回「シンポジウム」：顕彰・表彰

基調講演 東島新次氏・FINA 菅原宣彦氏・スウイス

2020年東京オリンピックを闘う日本水泳陣、精鋭たち

資料配布の上、東京オリンピックで活躍が期待される選手の紹介、男子、女子と区分、さらに種目別の情報などの豊富な資料と世界水泳界に対しての高い見識をもつ両氏が意見の交換を対談形式で進めた。加えて「水泳に関心を」の呼びかけ、2020年4月の日本選手権大会への注視、新水泳会場の紹介も含めた対談であった。日本選手メダル獲得予想の投票まで用意され、参加者の興味を呼んだ。



左：菅原宣彦氏 右：東島新次氏

特別講演 舎人経昭代表理事 講演予定者 近藤成章氏代理講演



公益財団法人国際水泳殿堂・アジアにかける想い

旧財団法人国際水泳殿堂・アジアの設立から公益財団法人への移行、国際水泳殿堂・アメリカ・フロリダ視察訪問の印象、1997年の国際水泳殿堂入堂式典の思い出、公益財団法人初代表理事としての6年間、代表理事としての使命感、思い、財団の将来への展望のための協力を弁舌さわやかに話された。

* 2007年 国際水泳殿堂特別賞受賞 愛知県仏教会会長

2019年度 第6回 顕彰・受賞者

大賞・日本水泳特別功労賞 金子 正子 先生・シンクロ

コーチ奨励賞 茅原 直人 先生・MG ニッシン スイマー奨励賞 玉井 陸斗 君・飛び込：JSS宝塚

金子正子先生は文科省関係の講師、玉井陸斗君は海外遠征、茅原直人先生は国内強化合宿で欠席。代理受賞となった。玉井陸斗君については指導者の馬淵かの子先生・JSS宝塚、2019年大賞の日本水泳特別功労賞受賞が代理受彰。オリンピック、飛込競技への熱い思いを述べられた。

大賞・日本水泳特別功労賞



表彰者 平本英司評議員

コーチ奨励賞



表彰者 磯部 正業務執行理事

スイマー奨励賞



表彰者 武藤龍治監事



功労者顕彰 川村俊五評議員



シンポジウム会場 収藏品一部展示



懇親会 会場

OLIMPIC

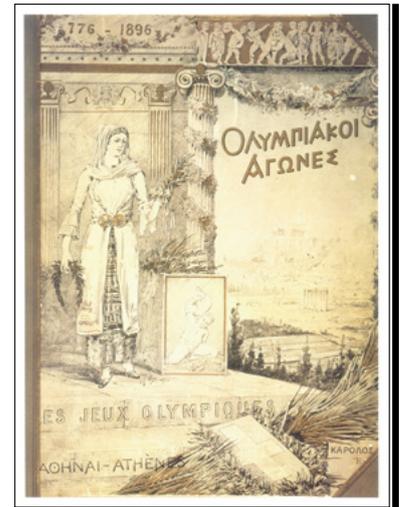
輝かしい日本水泳陣の戦歴

近代オリンピックが幾多の変遷の後、1896年第1回オリンピックがギリシア・首都アテネで開催された。日本のオリンピック初参加は1912年第5回大会・ストックホルム、さらに水泳が参加したのは1920年、第7回大会・アントワープである。

1924年第8回大会・パリで4種目の入賞を果たす。

1928年第9回大会・アムステルダム、200m平泳ぎで鶴田義行が金メダル第1号を獲得、日本水泳の世界への大きな足掛かりを築いた。

1932年第10回大会・ロサンゼルスは鶴田義行が200m平泳ぎで連続優勝をはじめ100m自由形宮崎康二、1500m自由形北村久寿雄、100m背泳ぎ清川正二、800mリレーの5種目で金メダルを獲得した。



第1回 1896年 アテネ・ギリシャ

1936年第11回大会・ベルリン「がんばれ前畑」の前畑秀子が200m平泳ぎで日本初の金メダル、男子200m平泳ぎで葉室鉄夫も金メダル、1500m自由形は寺田登、800mリレーと4種目で金メダルを獲得した。世界最強に台頭した日本水泳陣。

第2次世界大戦の勃発、そして敗戦。戦後の混乱期にスーパースターが誕生する。名コーチ村上勝良・日大が育て上げた、古橋広之進、橋爪四郎が世界記録を続々更新。1948年開催のオリンピックに出場はかなわず。オリンピックに合わせて開催した国内大会で優勝記録より早い記録を残した。



第18回 1964年 東京・日本

1952年第15回大会・ヘルシンキオリンピック復帰大会 橋爪四郎は力泳、銀メダルを獲得、全盛期を過ぎた古橋広之進は400m自由形8位。

1956年第16回大会・メルボルン 潜水泳法で古川勝200m平泳ぎ 戦後、初の金メダル獲得。

1960年第17回大会・ローマ 銀3、銅2を獲得するも金メダルに届かず。

1964年第18回大会・東京 国民、水泳関係者の期待の中開催。アメリカ、オーストラリアに完敗。メダルは800mリレーの銅メダル1個のみ。

1968年第19回大会・メキシコ メダル0と惨敗・・・



第32回 2020年 東京・日本

1972年第20回大会・ミュンヘン 徳田一臣名コーチの育てた田口信教100m平泳ぎ・世界新、加藤浩時コーチの青木まゆみ100mバタフライ4大会ぶりの金メダル獲得。しかし、1976年・モントリオール、1980年・モスクワ：不参加、1984年第23回大会・ロサンゼルス、競泳はメダル0、1988年第24回大会・ソウル100m背泳ぎ鈴木大地・スポーツ長官が金メダル獲得。

1992年第25回大会・バルセロナ 14歳の岩崎恭子が200m平泳ぎで優勝。入賞は14種目に及んだ。

しかし、1996年第26回大会・アトランタは入賞10種目でメダルなし。続く2000年第27回大会・シドニーは13種目入賞：メダル4であった。

2004年第28回大会・アテネでは名匠平井コーチが指導した北島康介が100m、200m平泳ぎで2冠、加えて女子800m自由形で田中コーチ指導の柴田亜衣が金メダル。入賞17種目計7個のメダルを獲得した。

2008年第29回大会・北京、なんと北島康介は100m、200m平泳ぎ連続2冠の偉業を達成した。

2012年第30回大会・ロンドン、入賞15種目、メダルは11個を獲得するも残念ながら、金メダルは今一歩届かなかった。

2016年第31回大会・リオデジャネイロ、400m個人メドレーで萩野公介、加藤剛志コーチ指導の金藤理恵が200m平泳ぎで圧勝の金メダル。入賞14種目、メダル6個獲得した。

オリンピック代表選手になることも大変難しいことだが、まして世界を相手にメダルを、さらに金メダルを得ることは至難なことだ。

日本選手の過去のゴールドメダリストの中にそれぞれが大偉業だが、特に印象に残る氏名を挙げる。

第一は鶴田義行の日本人メダル第1号、併せて2大会連続優勝。続いてベルリンでの前畑秀子、前回のロス大会で無念の2位、それから4年間、当時の水泳環境、苦勞の連続での快挙。

(6頁へ続く)

近代日本水泳界を支えた男 男 男

(文中敬称略)

田畑政治 氏

五輪一筋 近代日本水泳界生みの親



明治31年静岡県浜松町で出生、一高から東京帝国大学法学部そして朝日新聞社入社。1924年日本水上競技連盟創立。1929年専務理事、1939年理事長、1940年初の東京オリンピック、1948年日本水泳連盟会長、1952年ヘルシンキ、1956年メルボルンオリンピック選手団長、1961年日本水泳連盟名誉会長、1964年東京オリンピック、1969年勲二等瑞宝章受章、1973年 JOC 会長、その功績は正に快挙にいとまらない。

田畑政治は「日本水泳界の元老、いや日本スポーツ界の元老」「1964年東京五輪招致の最大功労者」とも云うべき人物である。

1928年アムステルダム五輪から1976年モントリオールまで実に11回の五輪に関係している。

1932年ロス五輪、1936年ベルリン五輪、世界水泳界での大活躍、太平洋戦争、敗戦。参加が認められた1952年ヘルシンキ五輪、1956年メルボルン五輪は選手団長を。東京五輪招致、1959年決定、1964年東京五輪、水泳惨敗、1968年メキシコ、そして1972年ミュンヘン戦後初の金メダル田口信教・100m平泳ぎ、青木まゆみ・100mバタフライ、多くのゴールドメダリストが田畑と交流、親交関係を持った。

1984年ロス五輪、病床でテレビ観戦、8月25日逝去 85歳。

書籍ご案内 五輪一筋 田畑政治 著者 松尾良一

発行者 田畑政治を顕彰する会浜松 〒431-1204 浜松市西区館山寺町1832-1 TEL 053-487-0424 松尾

古橋広之進 氏

戦後の日本水泳を助けた男「フジヤマのトビウオ」 敗戦国 日本を心から温かくした男 世界水泳界に君臨



戦後、オリンピック参加を許可されない日本水泳界に日本大学の古橋広之進、橋爪四郎が台頭。ロンドン五輪に参加できなかった日本水連は五輪と同日、同種目の大会を神宮プールで開催。スタンドは超満員、1500m自由形、古橋は18分33秒0の世界新記録、橋爪もタッチの差の世界記録、国民を感動させた。

ロンドン五輪優勝者マックレーンは19分18-5、40秒以上の大記録、400m自由形でも古橋は4分33-4の世界記録、優勝者スミスより8秒早い記録を樹立した。その後、各大会での樹立した世界記録は33個に及ぶ、世界水泳界に金字塔を打ち立てた。

中でも、ロスで開かれた全米選手権大会の1500m自由形では当時驚異的な18分19-9を樹立した。しかし、復帰を許された1952年ヘルシンキ五輪、王者古橋は400m自由形8位でオリンピックを終える。その後、古橋は社会人としての人生を送るが、日本水泳連盟役員に復帰、競泳委員長、副会長、会長、FINA：国際水泳連盟副会長を歴任。



公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア寄贈



古橋広之進記念館



徳田一臣 氏

中学教諭が夢見た男の人生 金メダルへ 夢の実現

広島三原三中 全中2連覇、フジドルフィンクラブへ そしてミュンヘンオリンピック田口信教 100m平泳ぎ世界新で金メダル



昭和3年、福岡県で出生。昭和26年愛知大学法学部卒業。広島県で教員生活に入る。昭和30年三原市立第三中学校転任。同33年水泳部を設立。卓越した指導力で数年にして全国中学校大会強豪校に育て上げた。中でも昭和40年、41年の全国中学校大会 男子2年連続優勝は、今でも語り草であり、自由形 早稲田 昇、平泳ぎ 田口信教は日本を代表する選手に成長した。

フジドルフィンクラブ創設をはじめ広島県水泳連盟、日本水泳連盟に対する功績、地元財界、特にライオンズクラブのメンバーとの交流も深い。広島を訪れる水泳関係者も日本水泳連盟の藤田 明、古橋広之進、大阪の大崎剛彦、寺尾豊はじめ多くの関係者、当時名古屋大学で、のちに東京大学で副学長まで務めた武藤芳照・整形外科医はこのほかお気に入り、財団法人国際水泳殿堂を設立した、名古屋の菅原宣彦は大学後輩、教員 OB 同士、人生の生き方共鳴で最後まで別格の扱いを受けた。菅原は田口信教の結婚式にも参列、3日間現地にいた。

武藤芳照は病魔に侵された時から回復のための最善の努力をし続けた。東京まで転院を進め、近くで看病を続けた。

菅原は国際水泳殿堂の入堂者の最終選考会で氏が漏れた後、国際水泳殿堂会長特別賞の受賞を理事会推薦、選考委員会承認で取り付け、トロフィーを広島に届けた。



広島・三原三中 栄光のステージ

氏から「会いたい」と菅原に連絡があり広島にお見舞いに自宅を訪れると、笑顔で「ありがとう」、「ありがとう」を繰り返した。広島から訃報が届いたのは間もなくだった。2002年7月4日逝去。

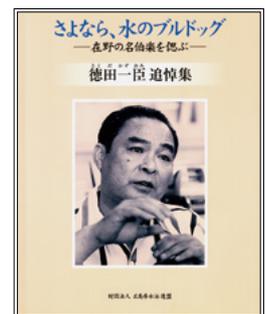
素晴らしい人生を、水泳人生を歩き通した男、徳田一臣。すばらしい番頭がいた。後に広島水泳連盟専務理事を務めた水野功明だ。氏の没後、奥様のご姉妹が住む関東への引越をすべてを務めた。

武藤芳照はこれまでのご恩にわずかでも報いるため追悼集を出そうと決意し、広島県水連の主要な方々と相談、一年で「さよなら、水のブルドッグー在野の名伯楽ー」を発刊した。

男の人生、生き様、素晴らしい生き方が書き尽くされた素晴らしい追悼集である。



ミュンヘンオリンピック



追悼集

メルボルンでの古川 勝の潜水泳法、ミュンヘンの田口信教：徳田コーチ、青木まゆみ：加藤コーチはコーチと選手が金メダルにこだわった。ソウルの鈴木大地：鈴木コーチの決勝のレース運び。

アテネ、北京の北島康介の4冠、2大会連続は何人も破ることができない日本水泳界の金字塔だ。

至近のリオ、金藤理恵の加藤コーチとのレース運び、完全に金を取るための素晴らしいレースを展開した。

名コーチは多い。戦後の中では村上勝芳・日大、田口の徳田、青木の加藤、鈴木鈴木、金藤の加藤は人生を金メダルにかけた名匠と呼びたい。北島の平井コーチは別格だ。

文責 Y.S

第95回日本選手権 兼 東京オリンピック代表選手選考会

4月1日～8日

4月1日(水)				4月2日(木)				4月3日(金)							
6	男子	400m	個人メドレー 決勝	16	女子	100m	バタフライ 決勝	27	女子	100m	背泳ぎ 決勝	28	男子	200m	自由形 決勝
7	男子	400m	自由形 決勝	17	男子	100m	平泳ぎ 決勝	29	女子	100m	平泳ぎ 決勝	30	男子	100m	背泳ぎ 決勝
8	女子	400m	個人メドレー 決勝	18	女子	400m	自由形 決勝								
4月4日(土)				4月5日(日)				4月6日(月)							
38	女子	200m	自由形 決勝	49	男子	100m	自由形 決勝	60	女子	100m	自由形 決勝	61	男子	200m	背泳ぎ 決勝
39	男子	200m	バタフライ 決勝	50	女子	200m	バタフライ 決勝	62	女子	200m	平泳ぎ 決勝	63	男子	200m	個人メドレー 決勝
40	女子	200m	個人メドレー 決勝	51	男子	200m	平泳ぎ 決勝								
41	女子	1500m	自由形 決勝	52	男子	800m	自由形 決勝								
4月7日(火)				4月8日(水)				<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; color: orange;"> TV放映あります! 是非ご覧いただき応援して下さい。 </div>							
69	男子	100m	バタフライ 決勝	74	男子	50m	自由形 決勝								
70	女子	200m	背泳ぎ 決勝	75	女子	50m	自由形 決勝								
71	女子	800m	自由形 決勝	76	男子	1500m	自由形 決勝								

国際水泳殿堂とは

FINA（国際水泳連盟）の承認。1963年アメリカ フロリダ州フォートローダーゲール市に設立された。水泳に関する資料、オリンピックメダル、彫刻、絵画、トロフィー、ブロンズをはじめ、水泳に関する多くの資料を保存、展示している。文字通り世界一の水泳博物館。毎年、5月に国際水泳殿堂入堂式典を開催し、世界水泳で活躍した人々を顕彰、入堂させている。

現在大改修中



国際水泳殿堂 日本人入堂者

毎年5月に顕彰・入堂式典開催

「日本人入堂者 31名 / 入堂者総数 802名 内マスターズ 4名」

●北村久寿雄	●古橋 広之進	●鶴田 義行	●清川 正二	●前畑 秀子	●宮崎 康二	●古川 勝
●山中 毅	田口 信教	青木 まゆみ	●葉室 鐵夫	●高石 勝男	●牧野 正蔵	田中 聡子
●遊佐 正憲	橋爪 四郎	●長 沢 二 郎	●寺田 登	●小池 礼三	●村上 勝芳	●新井 茂雄
加藤 浩時	大崎 喜子	大崎 剛彦	小谷 実可子	●松 沢 一 鶴	中村 敬次郎	立花 美哉
金子 正子	武田 美保	松田 仁美				
入堂推薦申請中	石井 宏	鈴木大地	岩崎恭子	馬淵よし子	北島康介	(●印故人)

1997年入堂式典とは：国際水泳殿堂

アジアで初めて国際水泳殿堂入堂式典を開催。「1997年6月13日、14日」新設の国際水泳殿堂(名古屋市スポーツ振興会館)をはじめ、隣接のレインボープール、名古屋キャッスルホテルにおいて世紀の国際水泳殿堂入堂式典が、40年の歴史の中で初めてフォートローダーゲール市を離れ日本で開催された。

「シンポジウム」「前夜祭」「スイミングショー」延5,000人参加



訃報 近藤 克己氏 株式会社リライアンス代表取締役

2008年旧財団推進委員。2016年推進委員会副代表。2018年推進委員会代表。
公益財団法人国際水泳殿堂・アジアの公益事業推進に尽力する。2020年2月16日逝去 50才。

訃報 林 敏久氏 愛知学院大学

元財団法人愛知国際水泳殿堂・アジア 理事・総務担当。(公)日本水泳連盟 学生委員会委員長。
中部学生部会支部長、日本の学生水泳の発展に尽力。2019年12月5日逝去 72才。

2020年度 寄附・賛助会員への登録、お振込みについてのお願い。

当財団の運営は皆様のご厚情、ご芳志により運営され、公益事業を推進しています。

2019年度は500名の会員各位から多額のご寄附をいただきました。

多くのご支援に、財団役員一同感謝にたえません。

寄附・賛助会員各位におかれましては昨年同様当財団に対し、倍旧のご支援、ご芳情をお願い申し上げます。

ご家族、ご友人、お引取先にも、ご情宣いただきますようお願い申し上げます。

従前の会員各位につきましては銀行振り込みのみにて、対応させていただきます。

当財団への寄附金につきましては公益財団として「所得控除」「税制控除」の優遇措置を受けております。

：府益担第450号 内閣総理大臣 安倍晋三：

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジアとは

旧財団法人愛知国際水泳殿堂・アジアは、平成4年に国際水泳殿堂(アメリカ・フロリダ州)の水泳に関する世界からの収蔵品や情報を発信するため設立されました。

水泳、教育、財界をはじめ各界多くの方々のご支援とご尽力のなかで誕生し、1994年に名古屋市・名古屋スポーツ振興会館内に財団法人愛知国際水泳殿堂・アジアを開館しました。

その後、関係者のご尽力・ご支援により、公益事業の推進、当財団の保有する世界の水泳に関する収蔵品の公開・展示を目指し、永年にわたり地道な活動を続け、内閣府公益認定委員会からの認定を受け、平成26年4月1日より公益財団法人国際水泳殿堂・アジアとして活動を開始することになりました。

公益財団法人として公益事業を着実に実施し、日本水泳界の発展の一助となるべく努力を重ねています。

財団の基本情報

名称：公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア
設立日：1992年(平成4年)8月19日
移行日：2014年(平成26年)4月1日
代表者：代表理事 舎人 経昭
基本財産：184,000,000円
その他財産：47,993,000円
本部：〒464-0095 名古屋市千種区天満通1-46

役員

2019.7.1

代表理事	舎人 経昭	評議員	川村 俊五	評議員	伴野 泰申
業務執行理事	磯部 正	評議員	上里 修司	評議員	佐藤 均
理事	近藤 成章	評議員	田中 孝	評議員	平本 英司
理事	竹田 幹夫	評議員	藤城 弘幸	監事	武藤 龍治
理事	菅原 宣彦	評議員	舎人 久子	監事	高木 克己

～ご芳情に心から感謝申し上げます～

◆寄附・賛助会員

高木 克己	高木 慎司	松元 博明	金丸 昌史	吉田 光博	中津川 桂子
(社)ファイト	平本 英司	平本 英司	大林 英人	(株)スウイズ	瀧下 正司
瀧下 一子	(株)カミヤマ	神山 明彦	太田 孝彦	神山 雄哉	柴田 昭彦
戸崎 昇	(有)辰巳機工	伴野 泰申	伴野 典子	成瀬 裕二	阿部 利美
高木 一郎	黒川 一美	シンポジウム有志一同	東島 新次	菅原 宣彦	馬淵 かの子
(宗)長養寺	(学)天満幼稚園	栄興 建設(株)	亜斗 夢工房(株)	鈴木 行満	松本 教雄
三宅 みつ子	高木 よしみ	末本 小有里	大沢 美穂	山本 まゆ	舎人 きぬ
舎人 久子	舎人 経昭	深谷 修	深谷 奈美子	西嶋 清恵	山本 航平
原 佳宏	サンエイ工業(株)	(有)神栄工業	ローズコートホテル	磯部 正	金子 正子
近藤 産興(株)	稲石 総子	下田 京子	飯沼 忠公	丸山 竹男	真野 克
柴田 明彦	石田 葉子	石原 彰	伊藤 厚	太田 茂	山田 幸子
池田 幸一	大岩 俊一	小久保 和義	小山 一郎	川西 時久	中村 治
勝田 豊和	井上 三郎	井上 恭子	安達 雅也	渡辺 辰一	加藤 道和
荒木 京子	飯田 忠道	池田 幸一	大岩 俊一	小久保 和義	小山 一郎
川西 時久	中村 治	勝田 豊和	井上 三郎	井上 恭子	安達 雅也
渡辺 辰一	加藤 道和	荒木 京子	飯田 忠道	柴田 昭彦	石神 葉子
島 三郎	石原 彰	磯部 正	トネリ	トネリ	丸山 雅彦
岩川 照代	中西 文乃	原 政一	石黒 勝	荒谷 和子	林 伸一

野口和子	志賀正一	大西金次郎	近藤清彦	田口清一	池戸和子
熊谷順治	小島たつ子	磯部正	鬼頭奈美	岩島禮子	岩島雅
磯部晃	磯部普	石田和子	加藤剛	磯部栄	滝本昌豊
磯部洋子	篠崎敏行	篠崎茂子	岡本清	岡本好子	川口智大
伊藤隆	川口浩平	川口真理子	岡本和志	川村俊五	木村均
横田潔	源川香津枝	与儀忠文	藤井康寛	林佳宏	(株)イーマックス
松村時子	後藤順一	日沖幸一	鈴木淳	田中和子	土屋清子
田口幸夫	松本将吉	齐藤源治	前川隆	新井新吉	野田隆次
山田一次	古川和子	小島雄一郎	菊治淳夫	近藤豊	今里勇一
小竹洋次	赤堀賢次	磯部正	大河秀和	坂口秀一	中島明子
野津扶志子	藤本由利子	藤本慶子	寺沢登	深谷文彦	阪田敦子
伊藤通和	田中孝一	吉川守	阿部正彦	清川一郎	清水洋子
中森慶子	中村祥子	広瀬正	服部和雄	山田伊都子	犬童久美
花井みさ子	大木圭一郎	太田茂	小山田圭五	門祥子	大竹真理子
大木雅志	和田理子	泉三郎	長田卓士	桂川保貴	岡村肇
春日一平	斉藤陽子	互谷仁	小川宏一	織田憲二	各務誠吾
阿部利美	伊藤英治	中村久三	後藤和美	田辺広造	上田賢治
牛田順	内田三郎	大前泰	大前恵美子	篤志家	伴野典子
(株)サンエイ工業	高木克己	井上博一	井上和子	下田京子	堀田久一
山田恒一	佐崎謙太郎	熊谷淳	加賀円造	野田貴志	中田恒二
小林昌英	大岩俊康	大村嶺作	木村普一	浅井幸子	松田利枝
二村初枝	木崎道和	平岩邦彦	舍人久子		

続きは次号にて

寄附会員・賛助会員募集 法人・個人 本財団の趣旨にご理解、ご協力いただけます方のご紹介をお願いします。

○入会方法

- ① 下記の申込書に必要事項をご記入の上、財団本部・事務取扱まで郵送・又は FAX にてお申込み下さい。
- ② 寄附会員：法人一口100,000円・個人一口10,000円 賛助会員：法人・個人一口10,000円
- ③ 振込先 三菱UFJ銀行 名古屋営業部 普通 2316137 口座名：公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア 会員受付宛

年 月 日

会員申込受付専用FAX：052-779-0010

国際水泳殿堂・アジア

代表理事 舍人 経昭 様

寄附・賛助会員入会申込書

財団の趣旨に賛同し、寄附会員・賛助会員として入会します (○を付けてください)

寄附	○ 法人でお申し込みの方 金額 円		○ 個人でお申し込みの方 金額 円	
	フリガナ 法人名		フリガナ 個人名	
フリガナ 代表者名		フリガナ ご連絡先		
ご住所 〒		ご住所 〒		
電話番号		電話番号		

寄附金会員につきましては税の優遇措置、寄附金控除（所得控除）、寄附金特別控除（税額控除）があります。
内閣府からの税額控除の証明が必要の方はお申出下さい。